

## 2020年度海外留学(実績)

対象学科	派遣先大学等	派遣期間	派遣人数	単位認定	研修目的等
HT学科 (GMM)	ハワイ大学(アメリカ)	2020年1月～12月 (12ヶ月) ※4月～12月はオンライン	1	有	異文化社会に身を置くことで国際感覚を養うとともに、世界に通じるホスピタリティ・マインドを身につける。
	サンウェイ大学(マレーシア)	2020年8月～2021年3月 (8ヶ月) ※全期間オンライン	1		

# 長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学：アメリカ ハワイ大学 (マノア校)

留学期間： 2020年1月13日(月)～ 2020年12月19日(土)

## 1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと(400字以上)

私は、TIM (ホスピタリティマネジメント・観光経営学部)に、一年間の交換留学をしました。ハワイ大学では春・秋セメスターで各15単位を取得できるため、私は一年間で7つのクラスを履修しました。

・ **Introduction to Travel Industry Management** では、観光学全般について再度学ぶことになりました。ホスピタリティの意味やホテル、陸路・海路・空路の移動(モビリティ)について、ハワイ大学の知見から幅広く学びなおすことができました。このクラスでは中間・期末テストに加え、チャプターごとに小テストを行いました。

・ **Management of Service Enterprises** では、ホテル経営を題材として、計数的な管理に関する講義が展開されました。Excelを使用し、ホテル経営に必要なユニフォーム会計や財務についての実務を学ぶクラスでした。

・ **Principles of Travel Industry Marketing** でもホテルの経営を題材にしたもので、マネジメントやマーケティングについて学びました。ケーススタディを用いたグループワーク主体の講義で、プレゼンテーションをする機会が多いクラスでした。

・ **Human Resources Management** では、観光業の人材管理全般について広く学びました。ひととおりの知識を修得するとともに、ゲストスピーカーを招へいた講義回も多く、実務レベルの人材管理について学ぶ機会も多くありました。コースの最後は全体の理解の確認として、自分で選択したひとつの企業の人材管理についてプレゼンテーションが課されました。

・ **Foodservice Management** では、レストランの経営や内部のオペレーション管理について学びました。講義での学修内容に基づき、仮想でレストランをオープンすることを目指して、名前やロゴから始まりコスト計画などをすべて計画するグループワークも行いました。

・ **Introduction to Tourism Transportation** では、航空会社を題材として、観光における運輸業の役割や価値などについて学びました。クラスでは、航空会社のうちから一社選び、内部環境と外部環境に関するアセスメントを実施したうえで、その結果をもとにプレゼンテーションを実施しました。

・ **Events Planning and Marketing** では、イベントビジネスの企画立案とマーケティングについて学びました。イベントの企画、とくにターゲットの進め方などを学び、最も視野が広がったように感じた授業でした。講義内では、大学で開催する実イベントのプログラムを計画し、webサイトの作成やゲストの招待など、計画に関わる事項を体験することができました。

新型コロナウイルスの影響で、春休み明けからはすべてオンライン授業になりました。私は、4月初旬に日本に帰国して受講することとなりました。受講に際しては時差を心配していましたが、ほとんどのクラスがオンデマンドスタイルでの開講となり、リアルタイムではないため帰国した留学生も受講しやすい環境でした。

## 2 留学先での生活(滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等)について、詳しく書くこと(400字以上)

ハワイに実際に滞在している期間中、私は大学内の学生寮で生活しておりました。寮内には、現地学生、アメリカ本土の学生、私のような留学生など様々なバックグラウンドの学生が共同生活しており、キッチンスペースや勉強部屋、共同のリビングスペース等がありました。私は同じ寮で生活していたフランス出身の学生と親しくなり、寮のカフェテリアに行ったり、キッチンでお互いの国の料理をふるまったりしました。

寮の部屋は二人部屋で、私のルームメイトは地元出身の学生でした。彼女は選択授業として日本語を履修していたので日本語を教えるいっぽうで、私はハワイの言葉や、観光地、文化等を教わり、大学の近くに来ていた移動遊園地にも連れて行ってもらいました。アメリカのドラマ等でみる移動式遊園地は、昼と夜で雰囲気異なり、アトラクションの内容も日本では得られない経験でした。

また、ハワイでは日本のアニメが人気を博していたため、アニメコンテンツを媒介にたくさんの知己を得ることができました。毎年5月にアニメイベントがあるとのことで一緒に行く約束をしていましたが、新型コロナウイルスで中止になってしまったので、次の開催機会での再会を約束して帰国しました。

### 3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

留学行く前は、世界でも最高水準の観光地であるハワイにおいて、観光やホスピタリティについて改めて学ぶことで将来に生かしたいと考えていました。しかし、実際に一年間ハワイ大学で学び、多くの、そして様々な人々の話を聞くことで視野が広がり、観光について学んだ将来につながる先はトラベルエージェンシーやホテル、エアラインだけではないと、心から思えるように思うようになりました。留学先である TIM 学部の学生のうち、複数人が、将来は全く違うキャリアに進むと語っていました。その理由は様々でしたが、私には新鮮で大きな発見でした。大学でホスピタリティやツーリズムを専攻したからには、将来のキャリアは関連があるべきだと視野を狭めていたことに気づかされました。留学中の交流を通して、広い視野と俯瞰する視点から、自分が本当に興味を持っていることやキャリアイメージについて、多角的、多面的に見られるようになりました。留学の前後で、将来のキャリアに対する意識の変化が大きいことをと身近なひとに驚かれるようになっていきます。

また、個人的なところでは、今回の留学を通じて、私は自立できたのではないかと思います。自分の経験のなかで今回が3度目の留学となります。今回が初めてホームステイではない海外留学となったことで、日本でも一人暮らしも経験していないために、海外での慣れない環境で家事全般について考えたことから、より生活面で自立できたことが最大の収穫です。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

今回の留学で、視野を広くもつことの大切さを知りました。将来のキャリアについては確信を持てるものこそ見つけられていませんが、本当に興味があること、やりたいことは、自分なりに見出しつつあるように感じています。これからは、まず、その微かにつかみかけつつあるその何かを、しっかりと見据えて、追及していこうと思います。また、今回の留学で学んだ、視野を広く、視点を高く持つことは、自分自身のキャリアだけではなく、様々な場面で役立つと思うので、留学という異なるコンテキストに身を置くことで実現できたことを、日常生活の中でも決めつけや思い込みをできるだけ小さくして、もっと本質的に物事をとらえていこうと思っています。

また、将来一人暮らしするときのために、よい経験が出来た、とも思っています。食事や掃除や洗濯など、基本的な家事労働の大変さを体感していくなかで、特に食事について、考えることが多くなりました。留学中には栄養面に関してずばらになりがちで、食べなくてもいいと思う日も何度かありました。自分が食事について疎かにする危険があることを学べたので、今後は気をつけていきたいと思っています。また、準備が万端ではない状況での一人暮らしだったとの反省もあり、今後に向けて、修正点等をシミュレーションしておこうと思っています。同時に、家族と暮らしていて何不自由ない現状は当たり前のものではないことを再認識し、感謝していこうと思っています。

### 4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

私は、留学に必要な TOEFL や IELTS のスコアを達成するまでに、時間がかかってしまいました。いつもあと一步のところまで規定のスコアを超えることができなかったために、一時期は留学を諦めようと、投げやりにも考えることもありました。しかし、ハワイ大学に行きたい理由や学びたいもの・こと、さらに、観光したいところなど、留学を実現・実践している自分を妄想でもイメージしてモチベーションを保つことができました。

ちなみに、TOEFL や IELTS に向けた勉強はひとりでは続かないものでした。大学の先生方にアドバイスを頂いたり、友人と勉強し、お互いに教えたり、教わったりすることで、スコアが達成できたのだと思います。

新型コロナウイルスの影響で、気軽には留学できない状況ですが、オンラインでの留学を通して学べることはたくさんありました。ハワイ大学では、コロナ以前からオンライン授業の実績もあり、春休み明けから即時シフトするなど、日本の大学との環境や対応の違いを体感することもできました。留学では、語学力の向上だけでなく、このような環境の違い、文化の違いに基づく対応の違い等も楽しむことができると、より良い経験ができると思います。自分がやりたいこと、挑戦したいことは、難しいことでも諦めず続けてください。

# 長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学：マレーシア サンウェイ大学

留学期間： 2020年8月12日（土）～ 2021年3月19日（金）

## 1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

今回の約半年間のオンライン留学において、Communication Skills、Food & Beverage Management、Quality Management、Sustainable Tourism Development、MICE Management 以上の5つの教科を履修しました。まず、Communication Skills では履歴書の書き方からインタビューの仕方、コミュニケーションにおいて言語と非言語の両面に起因して生じる課題と対策について学びました。また、Food & Beverage Management では飲食店の開業に際して考慮すべき事項（例：地域のライバル、トレンド、客層等）、飲食店の運営上配慮すべき事項（レイアウト等）について学びました。3つ目の Quality Management では品質の維持向上に向けて実践すべき様々なマネジメント手法や、そのマネジメント手法を提唱した人物とその背景について学び、実践に向けての注意事項も修得しました。4つめの Sustainable Tourism Development では Social・Economic・Environment の3つを柱として、現在の観光業界の問題について取り上げ、SDGsの達成に向けてもサステナブルな観光業の実現に向けた将来の展望を検討しました。最後の MICE Management では現在の MICE 業界について、様々な角度から検討を行い、広く知見を得ることができました。この講義の課題の一環として、MICE イベントを開催することを想定して、グループワークで企画を実践することができました。

## 2 オンライン留学でよかったことや大変だったことについて、詳しく書くこと（400字以上）

オンライン留学であったことで、コロナ禍に外出をする必要がなくなり、通学の時間や負担が無くなったことがいちばんのメリットだったように思います。特に海外に移動することのリスクが高く、海外留学の実現が危ぶまれたこの時期にも、オンラインであったため、サンウェイ大学の講義を履修できたことは、大きな利点であったと思います。さらに、現地の学生もオンライン型あるいはハイブリッド型（オンラインで参加する学生とクラスに来る学生の両方がいる形態）での受講であったため、私が日本からオンラインで受講していても現地の学生と変わりなく受講できていた安心感がありました。また、サンウェイ大学では全ての事務手続がオンラインに対応していたので、どこかに足を運ばなければならないこともなく、個人的には負担なく過ごせました。一方大変だったことは、すべてのクラスでグループワークがあり、課題に取り組まなければならなかったことです。グループワークの推進にあたっては、メンバーとミーティングする必要があったのですが、直接対面することと比較すると相互理解に困難だと感じるが多いうえに、時差の壁で調整にも難航しました。また、オンラインだけでは深く長期的な友好関係を築くことも難しく、その点は非常に残念でした、

### 3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

私が留学を通して最も成長したと感じている点は、何事にも臆せずぶつかっていくことの大切さを学べたことです。これまで私は、まったく日本語を解さず、英語でしかコミュニケーションが取れない人たちと一緒に授業を受け、共同で課題に取り組んだ経験が無かったので、留学が始まる前は大丈夫だとは思っていたものの、確信はありませんでした。しかし、いざ始めてみて参加する中で、先生に質問を繰り返すことやクラスメイトとの対話の中で、徐々に自分に自信が持てるようになっていくことに気が付きました。マインドの面での成長を大きく感じられています。そのほかに気が付いたこととしては、一緒に授業を受けていたクラスメイトの皆がとても優しく、初めに関わったクラスメイトであっても協力して課題に取り組みました。それ以外にも、クラスへの参画が遅れたときも、チャット欄で挨拶した私に対して全員がポジティブに反応し、声をかけてくれました。先輩からは、留学生が馴染むのに大変だと聞いていたこともあったので、クラスメイトの優しさがとても嬉しかったことを覚えています。このような経験から、どんな環境においても、相手を決めつけてかかるのではなく、「素直に一旦やってみる」ことが大切だと身にしみて理解しました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

学生生活の面ではグローバル・マネジメント メジャーに所属しているので、留学生も多い環境でも、より一層クラスメイトとの距離を感じずに過ごせるようになれる経験だったと思います。将来、社会に出て働くようになった際にも、一緒に働く人やお客様に対して、外見や国籍などに基づく先入観を持たず、自分の培ってきた直感にある程度の自信を持って行動したり対応したりすることができるようになったと思います。更に、仕事をしていく上で、自分の実力もまだまだだとは思いますが、海外のお客様と関われる機会に恵まれるように、今回の経験を活かして、積極的に行動していきたいと思っています。現在、就職活動に取り組んでいますが、確実に留学での経験が自分の自信になり自分を支えていると感じています。面接でのリアクションやエントリーシートへの記入事項について、いままでになく自信を持って対応できるように就職活動ができていると思うからです。留学をする中での課題に向き合い苦労した経験やそれを努力して無事乗り越えてきた経験、これらを通じて得た結果のすべてが、いまの自分の糧になり、役に立っていると感じています。

4 今後オンライン留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

今後オンライン留学をする方へのアドバイスとして、私は 3 点を挙げたいと思います。まず、怖がらずに挑戦してみることを、です。授業中での先生との向き合い方でも、クラスメイトとの些細な会話でも、悩むよりもとりあえず行動に移すことで良い結果を得られたことが多かったことで、怖がらずに挑戦してみることを、最初に勧めたいと思っています。次に、わからないことはわかるまでしっかり質問すること、を挙げたいと思います。質問をしっかりすること、について、特に気を付けてほしいのは、課題の提出に関してです。留学中には初めての形式で提出する課題に直面することが多くあります。その場合、参考文献の書き方から始まり、様々にルールが細かく決められていることが多いので、先生やクラスメイトに事前に確認してから課題に取り組まなければ、せつかくの提出物が減点されたり、最悪は無駄になったりするので、注意が必要です。最後に挙げたいことは、楽観的であること、です。これは私が実際に楽観的に過ごし、とてもよかったという実感に拠ります。どんなに悩んでもやらなければいけないことはなくなるし、結果はわからないので、きっと大丈夫、なるようになると思って思いっきり楽しむことで、振り返ると楽しい思い出に満ちた留学生活にできると思います。